



議会だより

# 中土佐町

No.47

平成29年11月10日発行

9月定例会  
第2回臨時会



■議員出張懇談会 ..... 2

■役場位置変更を可決 ..... 4

■7人が一般質問 ..... 5

### 今回の主な内容

■議員出張懇談会	2
■平成29年9月定例会	
議案審議	4
一般質問	5
委員会活動報告	13
行政報告	14
主な議案と議員の賛否	15
■議員の活動状況	16
■追跡	18

# 懇談会

# 中土佐町 社会福祉協議会



壁紙（クロス）  
がボロボロ！

津波救命艇  
があれば！

専門性のある職員は内部で育成！

古くなってきたデイサービスセンター「のじぎく荘」（右）と内部（上）



高台に遊休施設があれば移転を！

学校との連携が大事！

社会福祉協議会職員の方々と意見交換



デイサービスでの作業は、どれも重労働！



自宅で入浴の援助を受けられる移動入浴車

デイサービスセンター内で入浴サービスの説明を受ける議員



社協が運営する施設で職員と意見交換をする議員

- (上) 障害者の皆さんが働く「鯉乃國のめし家『萬や』」
- (右上) よろず a i の製造施設「よろず工房『愛』」
- (右) 誰でも集える「あったかふれあいセンター『まんまる』」



7月12日と26日の両日、議員が町民の皆さんのところへ出向く、議員出張懇談会が行われました。12日は社会福祉協議会から、各種事業の説明を受けた後、運営する5事業所を回りながら担当者と意見交換を行いました。26日は、旧北小学校のホールで、大野見北地区振興会の皆さんと意見交換を行いました。この中で、議会や町行政に対して貴重なご意見をうかがうことができました。

# 大野見 北地区振興会

## 議員出張

### 道の駅で

- ★海岸付近への建設は、  
庁舎の高台移転と整合性がない！
- ★津波で施設が潰れてもいいとは無責任！
- ★今の避難路では、皆が避難しきれない！
- ★避難訓練を何回もやらないと！
- ★黒潮本陣に向けてエスカレーターを！
- ★マルシェの出入口が自動ドアでないし、  
わかりにくい！
- ★今は農林課が試験的に、  
商品を集めてくれているが、あとが心配！
- ★県道への出入口に工夫を！

高樋の沈下橋付  
近にトイレを！

空き家対策を！

### 防災対策で

- ★山間地の対策を！
- ★がけ崩れ、山崩れなど、  
危険なところがいっぱいある。  
議員も現地に足を運べ！
- ★過去の水害の記録を、  
広報などに載せて欲しい！

なり手がいないので、議員が補  
助金交付団体の長になれるよう  
に、倫理条例の見直しを！

### 役場移転で

- ★大野見支所になっても、  
今の体制の維持を！
- ★久礼支所はいらない！

### 県道で

- ★19号線（窪川船戸線）の  
早期改良を！
- ★だんだん遅れているような！

北地区で結婚  
対策を！

# 役場位置変更を可決 条例施行は役場庁舎完成後

平成29年 中土佐町議会

## 9月定例会・第2回臨時会

案議  
議審

平成29年9月定例会が、9月8日から15日までの8日の日程で行われました。

開会日の8日には、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

12日・13日は一般質問（P5から関連記事）が行われ、7人の議員が町の課題について執行部の考えを問いました。15日には議案の審議が行われ、「役場位置を定める条例の全部改正」など14議案を可決しました。また、総務常任委員会提出の「公の施設の管理において、管理方法等に変更があった場合、議会に報告を求める決議」を可決。中城重則議員提出の「全国森林環境税の創設に関する意見書」「道路の整備及び維持のための財源確保に関する意見書」2件をいずれも可決しました（p15に関連記事）。そして、「平成28年度各会計歳入歳出決算の認定」を総務常任委員会に付託し、継続審査とし閉会しました。

9月定例会に先立つ7月13日、第2回臨時会が行われ、公共施設移転等事業に伴う国道56号をまたぐ橋梁上部工の請負契約の締結を可決しました。契約金額は4957万円（消費税込み）。

### 役場位置を定める 条例の全部改正

「中土佐町役場の位置を定める条例の全部を改正する条例について」は、役場位置を久礼中学校東側とするものだ。また、中土佐庁舎、大野見庁舎という位置づけも廃止された。

質疑では、今の時期に変更する理由、改正後の現庁舎の位置づけ等について、執行部に考えを聞いた。今の時期の変更理由については執行部からは明確な答弁はなかった。しかし、現庁舎については「平成32年度中の完成後に、規則で定めた日から施行する」ので問題はないとの答弁があった。この中で、平成33年5月中までには、新庁舎に移るとの目的が示された。採決は、地方自治法に基づき出席議員の3分の2以上の賛成が必要な特別多数議決で行われ、賛成9・反対2で可決された。



造成が始まる前（左）と造成が進む久礼保育所の移転場所（右）

# 一般質問

## ～所信を問う～



**中城 重則 ……P 6**  
■窓口対応で職員の連携を  
■漁業に地域おこし協力隊を



**下元 道夫 ……P 7**  
■経乃國水産の運営は  
■久礼中島浸水対策を早急に



**佐竹 敏彦 ……P 8**  
■「道の駅」は海が売り  
■久礼八幡宮大祭に支援を



**戸田 晴喜 ……P 9**  
■災害時の孤立化対策は  
■自主財源の拡大は



**岡 伊三男 ……P10**  
■「道の駅」への来場者は  
■上ノ加江公民館の建設は



**山中 英男 ……P11**  
■国保料試算の公表を  
■会計年度任用職員制度は



**黒原 昭一 ……P12**  
■制度利用就農者の実態は  
■小規模給水施設は

9月12日・13日の2日間、一般質問が行われました。一般質問では、7人の議員が、防災対策や農林水産業の振興、オープンから2カ月が経過した道の駅の課題など町の重要課題について、執行部の考えをいただきました。



中城重則

## 窓口対応で職員の連携を 研修等で知識習得

**問** 交渉や窓口対応など、行政がいかに迅速、的確に対応するかが求められている。経験の浅い若手職員と幹部職員が、共に取り組むチームワークが必要と思う。現状と今後の方針は。

**平田総務課長** 職員の育成は、研修等で知識習得の機会を与えている。定期的な課内会やミーティングを行ない、職員の向上心、コミュニケーションの醸成を図っている。

**池田町長** 今後4年間で幹部職員の6割が退職となる。幹部職員を育てていくことが重要となってくる。職員体制、業務内容も精査しながら考えていく。



漁業支援活動に取り組む片岡裕介隊員

## 漁業に地域おこし協力隊を

### 1名が漁業支援活動に

**問** 水産業は、全国的に後継者不足が深刻化している。

地域おこし協力隊の制度を活用し、将来的に漁業従事者となるような方をとれないか。また、高齢化等のため使用されていない漁船を有効活用する取り組みは。

**多田水産商工課長** 1名の隊員が、高知県漁協上ノ加江支所で漁業支援活動などに取り組んでいる。

将来的には漁業に従事したいとの意向を持っている。今後も、地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、新たな漁業従事者の育成に取り組む。

漁船の有効活用は、所属漁協が直接希望者を募る。また、漁連を通じて他組合へ情報を提供し、購入希望者を募集するなどの対応をとっている。しかし、実際の売買事例は少ないと聞いている。

**問** 「道の駅」で、漁業の振興につながる取り組みとして、町内3漁協の共同イベントはできないか。

**多田水産商工課長** 町漁業振興協議会で、各漁協の意見等も聞きたい。

### 町道沿いに不法投棄

**問** 町道沿い等に不法投棄が発生している。把握している状況は。これ以上増やさないためにも、法的な対策も含め、取り組みは。

**山本町民環境課長** (町道) 上ノ加江押岡線、そして交通量が少なくなった久礼坂等、大規模な不法投棄がある。須崎福祉保健所職員、不法投棄監視員と共に現地確認を行っている。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で取り締まっている。また啓発等も、須崎警察署、保健所等と連携して強化していきたい。



大野見梅の川の不法投棄

# 鯉乃國水産の運営は

## 外商商談会等に参加

**問** 鯉乃國水産の運営状況、平成28・29年度の売上高、今後の取り組みを聞く。

また、外商活動やPR活動時には、天然魚・七面鳥など、町内産品の紹介も行っている。

**問** 厳しい水産業の現状の中、水産業拠点施設として、5年・10年先を踏まえた今後の取り組みを聞く。

平成29年度は、4月から8月末まで売上額は約600万円。これから戻りガツオシーズンに合わせ販売促進を図る。

**多田水産商工課長** 加工部門の人員が未だ確保できていない。何とか本年度中に人員体制の整備と抜本的な運営体制の見直しを図りたい。水産業の振興に資することが一番の業務と考えている。今後も水産業振興に関する活動に重点を置き、取り組んでいく。

っている。住民からの情報の収集は、災害対策本部を早期に設置し、見回り等、住民からの聞き取りを行っている。

**池田町長** 町民の生命・財産を守る不可欠な事業だ。早期の着工、完成を目指す。

### 道の駅の運営状況は

**問** 久礼中島のポンプ増設工事は。

**問** 道の駅の売り上げ、入込客は。水産業、農業の出荷人数は。

### 多田水産商工課長

現在、正規職員1名、臨時職員1名の2名体制だ。加えて地域おこし協力隊1名が加工の補助を行っている。

平成28年度の売上額は1420万円。

外商商談会参加17回、県の地産外商公社などからの視察受け入れ対応23件、関東県人会等への参加・マスコミ対応19件などが主な取り組みだ。



スラリーアイス漬けにされたカツオ（左）と鯉乃國水産の加工場で、手作業で行われるカツオの加工（右）

## 久礼中島 浸水対策を早急に 来年度から2年間で

**問** 集中豪雨、南海トラフ地震に伴う土砂災害、山津波対策を聞く。

**平田総務課長** 危険箇所の住民への周知・確認は行

**山田建設課長** 平成28年度に排水ポンプ場の設計書作成を行った。本年度都市計画法を変更し、平成30年度より2年計画で増設工事を実施する予定だ。

**下元企画課長** 8月31日現在、全体の売上額は9500万円。レジ通過者は8万9000人。農産物の出品者36人で310万円。水産物は13人で50万円となっている。



奥が現在の排水ポンプ。手前の円形の所に2基目のポンプが据え付けられ、平成31年度には2基体制となる。



佐竹敏彦

## 「道の駅」は海が売り

### 船による体験も

温泉の利活用は、公金を投入しており利活用の協議は極めて重要だ。町内25カ所で行った行政懇談会でも、相当数温泉活

用の質問もいただいた。町にふさわしいものは何か、道の駅を発展させていくための施策は何か、検討したい。

#### アクティビティ

活動・行動・旅行先での遊び。



海の活用の検討も必要な「道の駅なかとさ」

「道の駅」は海が売り。海を使って何かできないか。6000万円で掘り出した凍結中の温泉も「使えるものにせよ」という声が結構多い。行政懇談会でも提起があった。応えるべきでは。

池田町長 120トクラスのカツオ船が入港できる水深のある港だ。魅力ある道の駅として存続するための方策として、船によるアクティビティも選択肢だ。検討していく。

## 久礼八幡宮大祭に支援を 無形民俗文化財として

貴重な祭りに対する財政的支援を含めた対応策はないか。

中城教育長 文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として、本年度、文化審議会に諮りたい」という打診があった。今後2～3年で、調査事業を開始したいということだ。

池田町長 大変労力を伴う事業だ。さまざまな一連の作業が過重になり、頭

屋として「よう出さん」と言うところまでできた。行政が一定のルールのもとに、財政を支援するということしかないのではないかと捉えるのではなく、無形の文化財として祭りの行為そのものを捉え、今後、絶やすことなく祭りを守っていくということも必要だ。

専門的な見地からの提言や、町民と共に議論をしながら、祭りを守っていききたい。



地域の方が総出で準備する久礼八幡宮大祭の大松明

久礼八幡宮大祭は、火祭りとして有名で土佐の三大祭りだ。本来の仕組みは久礼、上ノ加江、安和の3カ村を結んだ祭りだ。今の言葉で、地域のネットワークづくり、地域共同体の育成がこの久礼八幡宮大祭の持つ意味だ。政教分離の考え方があり、行政がなかなか手出しできない状況下にある。しかし今、国もその価値を見直してきている。どのようなものか。

## 災害時の孤立化対策は

## 浄水器・ヘリポート等を

上ノ加江・矢井賀等、大きな部分で押さえている。孤立化の内容・特徴は、検討していない。

**問** 計画の中に、予想地区を明記し、特徴（けが・医療問題・飲み水等）ごとに対策を打たないといけないのでは。

**平田総務課長** 大まかなくくりとして、久礼・上ノ加江・矢井賀・大野見（北・南・中央）としている。（できていない所は）これから避難所運営マニュアルを作っていく。水を1番の課題とし、浄水器等の配置を検討する。医療関連でヘリポートも検討している。ただ、適地が見つかっていない。

**問** 災害による孤立地区への対応、地区はどこを予想しているのか。孤立集落数、内容・特徴に違いはあるのか。

**平田総務課長** 孤立する集落数は、把握していない。

## 自主財源の拡大は

## 税・使用料・財産収入で

**問** 中土佐町総合振興計画で、健全な財政運営の推

進で上げられている自主財源の拡大とは、何を指

しているのか。

**平田総務課長** 税が一番大きい。あと使用料・財産収入といった部分の拡大が図れるか検討していくことになる。

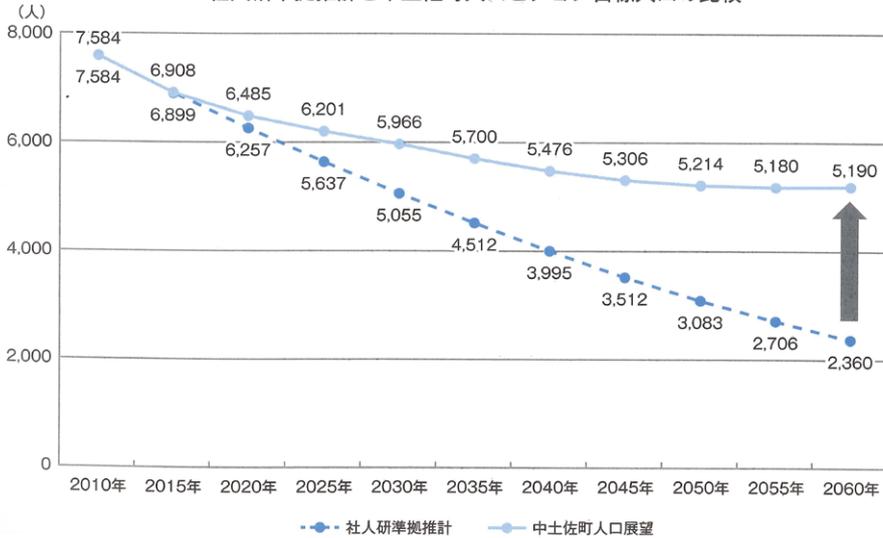
**問** 税は、人口が減って高齢化になれば拡大じゃなくして縮小ではないか。自主財源は、産業を増やすとか、付加価値を生む仕組みなど、いろいろ策はあるのでは。

**平田総務課長** 人口減少で、税収は減ってくるが、景

気の動向等では一概に言えないところもある。生産性労力が、本町にはまだあり、いけると思う。総合振興計画では、1次産業の振興では、具体的な事業は特に入っていないが、実施計画で入ってくる。

**池田町長** 人口減少イコール、町の衰退とはならないと考える。各種産業を振興していかないと、じり貧の一途になる。自主財源もしっかりと獲得できるように、産業の振興に努めていく。

社人研準拠推計と中土佐町人口ビジョン目標人口の比較



産業振興の切り札となるか、大野見地区の基幹農産物である米とショウガ



岡伊三男

# 「道の駅」への来場者は

## 9月10日現在10万3934人

問「黒潮本陣」「大正町市場」、他の飲食店でも相乗効果がでている。現在の集客人数と売上高は。

池田町長 9月10日時点の来客数は、10万3934人で1日平均10000人近い。売上額は1億1000万円を超えた。



引き戸が自動化されていない出入り口

今後12〜2月はどの施設でもお客様が減っている。議会、行政懇談会での指摘もある。改善し、お客様の数が減らないように、顧客満足度を高める運営をしていく。

### 「道の駅」引き戸の自動化は

問施設の店員からは「店舗が狭く、使い勝手が悪い」。来客者からは「店舗の営業時間が短い」などの声を聞く。対策は。

また、施設の引き戸は手動で閉め忘れが多い。対策は。

下元企画課長 行政懇談会でも若干狭いと声を聞いているが、議会からの7項目の要望に基づき建物を建設しており、現在は難しい。

今の営業内容は売り切れ次第閉店する状況だ。ブログを更新し、情報を知らせ対応している。「道の駅」は安価で簡素な建物で、設計段階で

は引き戸の自動化は盛り込んでなかった。改善策を検討していく。

### 温泉施設は

問温泉掘削に多額のお金をかけている。温泉を利用し、本町に長く滞在してもらおうようにする検討は。

池田町長 温泉事業には多くの声をいただいている。議会も完全否定ではなく「慎重に対応せよ」とのことである。湧出した温泉であり、有効活用を考えていくのは行政の責務と考える。

議会からの7項目の要望  
「町全体の活性化に」「温泉施設建設は慎重な対応を」「施設は安価で簡素なものに」等、平成26年に議会から町長に提出した要望書

## 上ノ加江公民館の建設は

## 今年度実施設計費を計上

問上ノ加江公民館の建設設計委託料を予算計上しているが、進捗状況は。

竹邑教育次長 今年度予算には公民館建て替えの実設計費も組まれている。現在の場所での建て替えて、今後も計画を進めていく。



本年度、設計委託料が計上された上ノ加江公民館

# 国保料試算の公表を

## 広報等通じて情報発信

**問** 国保が県へ移行する。公表は市町村の判断に任されているが、（保険料の）試算の内容等は、議会に情報提供をするべきではないか。

この保険制度は、医療費がかさむ高齢者や低所得層の加入割合が高く、赤字が深刻化していく。現行の高すぎる保険料を引き下げ、少なくとも制度移行による値上げにならないよう要望したい。

**山本町民環境課長** 高知県は医療費水準を反映すると決定した。中土佐町は

4方式（所得割・資産割・均等割・平等割）で賦課している。平成30年度からは、資産割を除く3方式になる。仮試算で明確な数字がない段階での公表は、皆様に迷惑になる。10月に平成30年度のデータベースを使い、国・県が試算を出す。広報等を通じ、情報発信していきたい。

**池田町長** 県に対して納めなければならぬ金額は、国保税率を極端に上げることはないよう市町村に裁量がある。本町では、低所得者、独居の方の生活が困窮することのないよう十分に配慮しながら、国保税率を決めていきたい。

高知県の市町村別1人当たりの医療費と保険料（厚生労働省の平成27年度国保事業報告より）

市町村名	1人当たりの医療費(円)	1人当たりの保険料(円)	市町村名	1人当たりの医療費(円)	1人当たりの保険料(円)
高知市	401,499	90,492	芸西村	442,988	96,415
室戸市	492,797	84,107	大川村	548,657	56,456
安芸市	455,541	102,071	土佐町	412,322	65,349
香美市	417,725	75,879	本山町	400,358	74,505
香南市	401,125	86,103	大豊町	517,116	51,906
南国市	411,776	89,252	いの町	450,319	82,246
土佐市	417,276	83,472	仁淀川町	449,467	52,815
須崎市	377,637	83,623	日高村	417,482	72,798
四万十市	345,070	77,385	佐川町	399,687	80,551
土佐清水市	419,400	84,266	越知町	378,332	74,484
宿毛市	354,004	81,208	檮原町	410,173	64,027
東洋町	498,314	57,178	津野町	402,967	83,016
奈半利町	449,446	60,762	<b>中土佐町</b>	<b>410,817</b>	<b>76,020</b>
田野町	349,974	66,133	四万十町	392,053	72,379
安田町	480,662	76,504	黒潮町	392,294	77,803
北川村	519,593	69,721	大月町	371,900	77,367
馬路村	624,655	90,307	三原村	448,017	45,935
			<b>平均</b>	<b>406,635</b>	<b>84,740</b>

## 会計年度任用職員制度は 勤務形態を把握した上で

か。

**平田総務課長** この制度は、平成32年4月から施行する。総務省からマニュアル等もいただいている。現在の臨時・非常勤職員の業務形態を把握した上で、制度を取り入れていきたい。

職員団体とは、その段階で協議していく。

**会計年度任用職員制度**  
地方公務員の臨時職員や非常勤職員を「会計年度任用職員」と位置付け、採用方法等を明確にするもの。ボーナスも支払われるようになる。

**問** 地方公務員法・地方自治法の一部改正（平成27年5月）が行われた。地方自治体の臨時・非常勤職員の規定と実態との乖離の解消のため、増大した臨時・非常勤職員の受け皿として、新たに会計年度任用職員制度の新設となった。

若干問題点もあるが、（導入にあたっては）労働組合等の意見も参考にし、導入する考えはない。

山中英男



黒原 昭一

## 制度利用就農者の実態は

## 地域の担い手として期待

合、返還することとなる。新規就農の認定審査も地域農業再生協議会が審議することになってきている。

**問** 就農者確保では、国の政策として青年就農給付金制度がある。現在、8名の制度利用者がいるとのことである。

栽培・販売方法が多様化している中で、経営実態の把握が難しい就農者もいるのではないかと。給付期間終了後、経営基盤を確立し、農業者として定着できる見込みがあるかを調査する必要があるのではないかと。

**榎本農林課長** 年2回の調査等も行っている。今年、この事業を卒業した3名も本町で就農を確認している。また、地域の共同活動にも積極的に取り組んでおり、地域の担い手として期待している。この制度は、給付期間と同じ期間に離農した場



後継者不足が深刻な本町の農業

### 青年就農給付金制度

就農前の研修や農業を始めてから経営が安定するまでの間サポートが受けられる。給付金は年150万円。

### 地域農業再生協議会

行政と農業者団体等の連携体制の構築など地域農業の振興を図ることを目的とする協議会。

## 小規模給水施設は

## 相談あれば補助金の説明

め、小規模給水施設による整備も含めて検討し、町全域の普及に取り組む」とある。小規模給水施設とはどのようなものか。

**問** 総合振興計画では「水道未普及地域は、安全な水を安定的に確保するた

**山本町環境課長** 現在の配管状況では水圧不足等になり、配管の敷設のみでは給水できない地域がある。その対策として小規模給水施設の整備という方法がある。各戸もしくは複数の家で水源を確保し管理使用する施設だ。対象地域に居住の方で相談があれば、補助金等の説明を行っている。



大野見下ル川の小規模給水施設

被災時の仮設住宅用地は

**問** 南海トラフ地震後の仮設住宅の建設用地が本町を含め、19の市町村で不足しているとの報道があった。復興住宅建設用地の確保は最重要課題だと思いがどのように考えているか。

**平田総務課長** 確保が可能と考えられる応急仮設住宅用地は、町内学校や休・廃校のグラウンドを想定している。現状では、町が所有する用地のみで建設用地の確保は困難だ。民間所有の空き地や農地を確保する必要があると考えている。

# 委員会活動報告

9月定例会の初日(9月8日)、総務・産業建設・教育民生の各常任委員長から議会閉会中の委員会の活動報告がありました。

## 集会所の耐震化・充実を

### 町有施設等を調査 ／総務常任委員会

指定管理一覧表の提示を受け、聞き取り調査を行った。集会所は避難場所に指定されている。耐震化等、施設の充実を計画的に行うとのことだ。大野見地区等4カ所の集会所の改善が計画されている。工事が着手されたところもあり、今後と



矢井賀地区の災害時資機材倉庫を調査する総務常任委員



も計画的な整備を求めた。公共施設が指定管理から町管理に変更された場合、地方自治法では議会への報告は義務付けられていない。議会が公共施設の取り扱いの変更を知

らないことは問題がある。全員協議会で情報の公開を行うよう9月定例会で、決議案を提出することを決定した。矢井賀に完成した資機材倉庫、避難所を現地調査した。飲み水の確保、空調設備、1人当たりの面積の少なさ等の課題がある。検討し、対策を講じる必要性がある。

## 道の駅効果 入込み客3割増

### 公共事業の進捗状況等を調査 ／産業建設常任委員会



庁舎移転等事業に伴う造成工事現場を調査する産業建設常任委員

公共事業の進捗状況は、県道中土佐佐賀線の小矢井賀工区は、狭隘箇所の工事が進んでいる。また、大野見久万秋工区は、橋梁設計に着手する。神母野工区は、土質が悪く計

画の見直しをしているとのことだ。

公共施設移転等工事は、橋梁下部工事が完成し、上部工事の作業に入る。消防用地は地盤改良中である。保育用地は造成

工事が進行中だ。建設課所管工事の進捗率は56%で順次工事も進んでいる。

産業関連の指定管理施設は、「ライダーズイン中土佐」はH I R O 倶楽部が、4月より運営を開始しているが施設の老朽化が目立っている。「四万十源流の里」は、J P T T o u r s J a p a n が同じく4月から運営を始めている。両施設ともフェイスブックやネットを活用して利用客の誘致に努めている。「黒潮本陣」や「ぜよびあ」は「道の駅」の相乗効果により、入込み客が3割程度増えている。課題として、町全体の駐車場不足を指摘された。「道の駅」の利用状況は、8月下旬で8万9000人となっている。各店舗は、想定以上の盛況で対応に苦慮している。「道の駅」への農産物の集荷は、地産振興の目的からも、継続的な取り組みを求めた。

# 土佐山学舎・行川学園へ

なめがわ

## 義務教育学校等を調査 教育民生常任委員会

平成28年度から制度化された義務教育学校である高知市の土佐山学舎と行川学園の2校を調査した。

義務教育学校とは、校長は1名、教育制度の6・3制を柔軟に変更できる。中学校の学習を小

学校でも学習できるカリキュラム編成が可能だ。平成28年度、全国で22校設置されている。

土佐山学舎、行川学園は過疎化の進む少人数の学校で、新制度の特色を生かし、4・3・2制を採用。土佐山学舎は、1

年生から英会話を基本に、英会話スクールと連携した教育等に取り組んでいる。

行川学園は、地域との触れ合いを絆に、特産品であるシヨウガを題材にした「しょうがプロジェクト」で地域活性化に取り組んでいる。

小規模校で山間僻地に位置した立地状況から、本町の学校の在り様としても参考になる。



土佐山学舎の英語の授業風景



行川学園の校長から説明を受ける教育民生常任委員

## 町財政は引き続き健全

## 池田町長の行政報告

### 1. 平成28年度決算状況

国民健康保険特別会計を除く全ての会計において黒字決算となった。健全化判断比率、資金不足比率とも、昨年に引き続き健全な状態となっている。

### 2. SEAプロジェクト「道の駅なかとさ」

7月6日から8月31日まで、全体の売上高9500万円、レジ通過者8万9000人に上った。当初の想定を大幅に上回るペースで推移している。今後、顧客満足度を高める努力をしていく。

### 3. 公共施設移転等事業

国道横断橋は、橋台は完成し、10月には橋桁をかける作業に入る。移転用地整備工事は、現在保育所用地の山切りを行っており、土木工事はおおむね順調に進んでいる。

役場新庁舎の概要は、鉄筋コンクリート一部鉄骨造り4階建て、延べ床面積3200㎡の予定。

### 4. 地震防災対策

今年度の避難訓練は、11月5日に実施予定。沿岸部の地震・津波浸水にとどまらず、大野見地域の大雨、土砂災害をも想定した訓練を実施する。

木造住宅の耐震改修工事は、8月までに31件を受け付けた。

### 5. 全国木のまちサミット

9月30日から10月1日、中土佐町を会場に、「第3回全国木のまちサミット」を開催する。

今回のメインテーマは「木材の生産現場の現状認識に加え、販売促進を加速化させる方策」を協議することとしている。



# 私は、賛成 反対 しました。

## 《9月定例会の主な議案と議員の賛否》

○・・・賛成 ●・・・反対 /・・・議長

議員名	岡 伊三男	戸 田晴喜	山 中英男	山 下世仁子	黒 原昭一	中 城重則	下 元道夫	佐 竹敏彦	福 永守恭	松 下裕之	本 井康介	可 否
審議した議案等												
過疎地域自立促進計画の変更 ※平成28年度作成の計画の各事業の変更（水産加工場設備整備事業、こうち農業確立総合支援事業、不燃物処理場設備更新事業、小中学校空調機設置事業定住団地整備事業等の変更等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
辺地総合整備計画の変更 ※矢井賀地区の各種事業の変更（町道・簡易水道施設の整備事業費変更、ライダーズイン施設機器更新等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
辺地総合整備計画の策定 ※黒石野地区、大野見北地区の計画策定（町道等整備）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
四万十町と中土佐町の戸籍電子情報処理の事務委託協議 ※四万十町との戸籍システム共同化の規約を定めるためのもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
役場位置を定める条例の全部改正（注） ※役場の位置を久礼中東側とするもの	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
手数料条例の一部改正 ※データ提供の手数料等を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
町営住宅設置管理条例の一部改正 ※上位法令の改正に伴い、条番号のずれを整理するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
町営土地改良事業等の経費の分担金徴収条例の一部改正 ※上位法令の改正に伴い、条番号のずれを整理するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成29年度一般会計補正予算（第2号） ※大野見保健福祉センター空調更新工事、老朽住宅等除却費補助金等7497万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号） ※前年度決算の確定に伴い、繰越金35万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） ※各施設の維持管理費155万円を減額等するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成29年度介護保険特別会計補正予算（第2号） ※積立金、償還金734万円を増額等するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ※広域連合納付金318万円を増額等するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
町道路線の一部廃止 ※公共施設移転等事業に伴うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

（注）出席議員の2/3以上の賛成が必要な特別多数議決

## 《第2回臨時会の主な議案と議員の賛否》

町道不動越4号線橋梁上部工整備工事請負契約の締結 ※公共施設移転等事業に伴う国道56号をまたぐ橋梁を新たに整備するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		承認
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	----

### 「全国森林環境税」創設に関する意見書

市町村が主体となった森林・林業施策の推進は、地球温暖化防止等につながりますが、恒久的・安定的な財源が大幅に不足しています。

このため、「『全国森林環境税』創設に関する意見書」を全会一致で可決し、国に対し意見書を提出しました。

### 道路の整備及び維持のための財源確保に関する意見書

町内の県道・町道とも未だ各集落間の生活道路には数多くの幅員狭小区間があり、依然として道路整備は不十分であります。また今後、道路維持補修費等の必要経費は増加してくることが見込まれています。

このため、「道路の整備及び維持のための財源確保に関する意見書」を全会一致で可決し、国に対し意見書を提出しました。

### 公の施設の管理において、管理方法等に変更があった場合、議会に報告を求める決議

地方自治法には、公の施設の管理を指定管理者に行わせる場合は議会の議決が必要と規定されていますが、その他の事項は特に定めがありません。

このため、管理方法等に変更があった場合、議会に伝わらない可能性もあり「公の施設の管理において、管理方法等に変更があった場合、議会に報告を求める決議」を全会一致で可決しました。

# A 私たちは、こんなことをしています。

## 《各議員の出欠状況(平成29年7月1日～平成29年9月30日)》

日付・会議等		議 員 名										
		岡 伊 三 男	戸 田 晴 喜	山 中 英 男	山 下 世 仁 子	黒 原 昭 一	中 城 重 則	下 元 道 夫	佐 竹 敏 彦	福 永 守 恭	松 下 裕 之	本 井 康 介
7月3日	教育民生常任委員会（高知市）	○	/	○	/	/	●	/	○	/	○	/
7月7日	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	/	/	/	○	●	/	○	/	○	/	/
7月12日	議員出張懇談会（中土佐町社会福祉協議会）	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月13日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	/	○	/	/	/	○	○	/	/	/	○
	第2回臨時会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月14日	総務常任委員会（中土佐庁舎・町内）	○	○	/	/	/	/	○	/	○	/	○
7月20日	高知縣市町村議会議員研修会（県民文化ホール）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
7月26日	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員出張懇談会（旧大野見北小学校ホール）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月3日	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）	○	/	○	/	/	/	○	/	○	/	○
8月18日	高幡町村議会議員研修会（四万十町）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月29日	産業建設常任委員会（中土佐庁舎・町内）	/	○	/	○	○	/	○	/	/	/	/
9月4日	議会運営委員会（中土佐庁舎）	/	○	/	/	/	○	○	/	/	/	△
9月8日	9月定例会〈1日目〉（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報常任委員会（中土佐庁舎）	/	/	/	○	○	/	○	/	/	/	/
	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）	○	/	○	/	/	/	○	/	/	/	○
9月12日	9月定例会〈2日目〉（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会（中土佐庁舎）	○	/	○	/	/	/	○	/	/	/	○
9月13日	9月定例会〈3日目〉（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（中土佐庁舎）	/	○	/	/	/	/	○	/	/	/	○
9月15日	9月定例会〈4日目〉（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会（中土佐庁舎）	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
9月28日	教育行政基礎講座（東京都）〈1日目〉	○	/	●	/	/	公	/	○	/	○	/
9月29日	〃 〈2日目〉	○	/	●	/	/	○	/	○	/	○	/
9月29日 30日	町村議会広報研修会（東京都）	/	/	/	○	○	/	○	/	/	/	/

○・・・出席      ●・・・欠席      △・・・一部欠席      公・・・他の公務による欠席      /・・・所属委員等でない

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

# Q 議員は何をしゆうが？

## 《議長的主要活動状況（平成29年7月1日～平成29年9月30日）》

### ● 7月

- 9日 高知県自衛隊家族会創立60周年記念行事（高知市／三翠園）
- 10日 平成29年度黒潮スカイライン高幡地区建設促進期成同盟会総会  
平成29年度県道窪川中土佐線・窪川船戸線改良促進期成同盟会総会（文化館）
- 11日 津野町議会議長・副議長就任あいさつ来庁【正副議長】（中土佐庁舎）
- 12日 高幡広域市町村圏事務組合との打ち合わせ（中土佐庁舎）
- 14日 平成29年度奥四万十博推進協議会理事会（文化館）  
高幡広域市町村圏事務組合議会（文化館）  
第136回高幡消防組合議会（文化館）
- 19日 高知県町村議会議長会理事会（高知市／自治会館）
- 20日 全国森林環境税創設促進連盟第24回定期総会（高知市／ザ クラウンパレス新阪急高知）
- 25日 高幡東部清掃組合議会臨時会【議長・議選組合委員】（高幡東部清掃組合）
- 26日 須崎地区地域安全協会打ち合わせ（中土佐庁舎）
- 28日 栃木県議会視察来町（文化館）
- 29日 須崎警察署員との交流会（須崎市）

### ● 8月

- 2日 四国横断自動車道高知県建設促進期成同盟会（四万十市／新ロイヤルホテル四万十）
- 4日 四国土砂防災ネットワーク議員連盟役員会  
第17回四国土砂防災ネットワーク議員連盟総会（高知市／ザ クラウンパレス新阪急高知）
- 5日 第34回小中学生弁論大会【議長・教育民生常任委員長】（文化館）
- 17日 第137回高幡消防組合臨時議会（須崎市／須崎市役所）
- 21日 町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会（高知市／自治会館）
- 27日 平成29年度高陵消防連合演習（梶原町／大越グラウンド）

### ● 9月

- 18日 双名園敬老会（養護老人ホーム双名園）
- 23日 第31回土佐牛まるかじり大会【正副議長】（梶原町／梶原町総合庁舎前）
- 26日 四国四県町村長・議長大会（高知市／ザ クラウンパレス新阪急高知）
- 28日 平成29年第2回（9月）高幡東部清掃組合議会定例会【議長・議選組合委員】  
（高幡東部清掃組合）
- 29日 上ノ加江小・中学校運動会懇親会（わかしや）

## スマホ・パソコン で議会を

スマートフォンやパソコンで  
本会議の様子が視聴できます。

中土佐町のホーム  
ページから議  
会のページに進  
みご覧ください。



## 会議録を閲覧 できます。

インターネット中継の映像及び音声は公式記録ではありません。また「議会だより」は発言の概要のみを掲載しています。公式記録は会議録をご覧ください。

会議録は、中土佐町のホームページ及び議会事務局で閲覧いただけます。

## 議会に対するご意見 などを募集しています。

ご意見やご感想など500字以内で、郵送でご投稿ください。

ご投稿先

〒789-1301  
中土佐町久礼6602番地2  
中土佐町役場議会事務局

# 「おりゃ どうなっちゃうぜよ」追跡

今号では、福永守恭議員が平成28年12月定例会で質問した「七面鳥の生産」の問題を追跡しました。

## 【平成26年12月会議】

問「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の地場産業の振興と地場産品の強化の一つに七面鳥の生産を増やす計画がある。生産者の高齢化・食鳥処理施設の改善・衛生管理・販売方法等の課題と改善策について聞く。

**榎本農林課長** 施設は適正な処理を行っていく上で老朽化の問題があり、施設及び設備の更新も検討している。

衛生面は平成27年度にHACCPの研修を受け、習得した衛生意識の徹底を図っている。

販売方法は冷凍商品を業者向け卸・小売直接販売・イベントでの対面販売等を行っている。

**池田町長** 新年度に七面鳥に対応する地域おこし協力隊を採用し研修にも行ってもらおう。

生産者とも協議する中で、新しく施設を作ることも可能ではないかとも思う。



増築中の食鳥処理場

### HACCP（ハザップ）

食品の製造工程における品質管理システムのこと。最終製品の抜取検査方式ではなく、製造プロセス全体において、予測される危害（HA）を分析し、重要管理点（CCP）を定める方式。

### 【その後の対応】

現在の施設に増築する形で施設の改修を行っている。衛生的で効率的な施設となるよう努める。現在、建築工事が進められている。本年10月末に完成予定で、11月から稼働の予定である。

（農林課）

### 表紙写真



今年度の議会だよりの表紙の写真は、「中土佐の未来を託す子どもたち」を取り上げています。

第3回目は、久礼八幡宮大祭、御神幸（おなばれ）の竹練りの先導「声出し」を務めた浪上海星君（久礼中3年生）。先輩たちの指導を受け、当日17人を見事率いた。

祭りが終わり「8年間天狗をし、去年に続き憧れの竹練りを行い無事終わった。来年からは教える立場になる。しっかりと、引き継いでいきたい」と話してくれた海星君が大きく見えた。



浪上 海星 君

## つぶやき

今年の夏も異常に暑かった。あつという間に季節も変わり、すっかり秋も深まって、1年の早さを感じる今日この頃である。

近年、日本を取り巻く環境は、地震・津波・異常気象による局地的な集中豪雨だけでなく、北朝鮮の核・ミサイル問題等、物騒な世の中になってきた。

今、なすべきことは何なのか……。現在の非日常的な脅威をみんながしっかりと認識することが大切で、これまで以上に緊張感を持たないといけない。地域の繋がりがや、先人たちの言い伝えを大事に、そして参考にして、町民生活の安全を守ることを本旨に取り組みをしていかなければならない。

現在、中土佐町は、産業振興や南海地震対策、公共施設の移転等の取り組みが進んでおり、住んでいて良かった、住んでみたいという町づくりの大切さを再認識して、議会活動に活かしていきたい。

中土佐町議会議員 中城 重則

### 中土佐町議会広報常任委員会

委員長	下元 道夫
副委員長	山下世仁子
委員	黒原 昭一
委員	福永 守恭